

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

消防運営事業

【

消防総務課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防職員等

意図 職員の健康管理、事務の効率化、各団体との情報交換等を実施し、消防業務の円滑化を図るため。

効果 職員の元気回復・体力増進、消防業務の効率化を図り、県、国レベルでの災害応援要請等があった場合の活動体制を確立し、迅速な活動をめざすとともに各自治町内会、企業等、地域ぐるみの市民等の防火防災意識を深めることができる。

【 事業の内容 】

- ・旅費、各署所の光熱水費、負担金等の執行、寝具類の賃借及び職員への被服の貸与など消防に係る一般事務を行った。
- ・職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項について計画し実施した。
- ・消防出初式は、令和6年能登半島地震に伴う、緊急消防援助隊出動準備のため、実施を見送った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
75,157	72,697	52,388		20,309
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	消防出初式参加団体等報償費		120	35
	消防職員大型運転免許資格取得奨励金		1,000	800
9節	普通旅費		509	1,086
	研修旅費		569	292
10節	消防本部交際費		100	57
11節	消耗品費		2,140	2,065
	緊急消防援助隊食糧費		137	93
	印刷製本費		143	147
	光熱水費		47,054	25,217
	被服費		10,573	11,714
12節	廃棄物運搬手数料		117	99
	消防業務賠償責任等保険料		429	416
13節	消防職員採用試験委託料		280	154
	職員福利厚生に係る事業委託料		4,066	2,938
	産業廃棄物処理委託料		317	317
14節	LED照明機器賃借料		624	624
	寝具類賃借料		3,208	3,066
	NHK放送受信料		344	228
19節	神奈川県消防学校初任教育負担金		2,445	2,044
	全国消防長会等負担金		982	996

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

消防施設管理事業

【

消防総務課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防職員等

意図 庁舎の老朽化による事故を防止し、公務が円滑に執行できる職場環境を確保するとともに、災害時の拠点として活用できるよう機能を維持するため。

効果 災害時の拠点となる消防庁舎の機能を維持することができる。

【 事業の内容 】

・各署所の修繕、保守点検等消防庁舎の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
35,248	35,248	32,746		2,502
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	各署所維持修繕料		11,000	9,503
	変電設備トランス(変圧器)修繕料		4,400	4,400
	変電設備高圧コンデンサ修繕料		3,091	3,075
12節	自家用電気工作物保安管理業務手数料		828	800
	非常用自家発電機定期点検等手数料		822	822
13節	庁舎清掃管理業務委託料		15,042	14,081
	ガスヒートポンプエアコン保守業務委託料		65	65

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

警防活動事業

【 警防救急課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防職員等

意図 消防職員の技術の向上を図り、各種災害に即時対応できるよう機材の維持管理をするため。

効果 組織全体のレベルアップ・事故の絶無を目指し、市民を災害から守る。

【 事業の内容 】

- ・ 警防活動に必要な備品の整備、機器の保守点検等を行うとともに、消防学校に職員を出向させ、技術の向上を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,641	42,600	40,638		1,962
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
8節	防火水槽土地借用謝礼(37件)		117	111
9節	研修旅費		88	37
11節	消耗品費		5,133	5,132
	消防車両燃料費		10,600	12,097
	被服費		9,548	9,460
	消防車両修繕料		8,092	8,445
12節	空気ボンベ耐圧検査等手数料		946	900
	消防自動車等任意保険料		1,151	1,127
13節	はしご車梯体点検委託料		407	407
14節	高速道路等使用料		200	103
18節	空気呼吸器用ボンベ備品購入費		411	411
	救助艇(FRP製)備品購入費		919	892
19節	神奈川県消防学校専科教育等負担金		437	451
22節	自動車事故賠償金		500	0
27節	自動車重量税		1,092	1,065

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

救急活動事業

【 警防救急課 】

※重点事業(事業CD:5-1-3-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 救急救命士を含む救急隊員

意図 救急体制の充実を図るため。

効果 市民の救命率の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・救急救命士及び救急隊員を養成し、救急体制の充実を図るとともに、市民を対象に普通救命講習等を実施し、市民の救命率の向上を目指した。
- ・救命率の向上を図るため公共施設等に設置した自動体外式除細動器(AED)を引き続き配置した。
- ・救急隊員へ作業支援ロボットスーツを令和5年9月末まで配備した。
- ・救急訓練用人形を購入して救急救命士等の質の向上を図った。
- ・高圧蒸気滅菌器を更新し、資器材の滅菌を継続的に実施した。
- ・指導救命士を養成して救急救命士の教育等を行った。
- ・前年度からの事故繰越しにより、気管挿管実習を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,238	30,538	28,780		1,758
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
9節	研修旅費		349	136
11節	消耗品費		5,680	5,608
	印刷製本費		53	48
	AED(コンビニエンスストア)ボックス撤去時の修繕料		60	0
	医薬材料費		2,727	2,678
12節	酸素ボンベ耐圧試験等手数料		516	287
13節	救急車搭載機器点検委託料		1,949	1,760
	特別産業廃棄物(感染性)収集・運搬・処理委託料		739	249
	メディカルコントロール指示等委託料		432	432
	救急救命士再教育委託料		880	828
	救急救命士就業前研修委託料		240	320
	救急救命士気管挿管再教育委託料		110	90
	ビデオ硬性喉頭鏡による気管挿管実習委託料		100	100
	救急救命士気管挿管実習委託料		300	300
	救急救命士気管挿管実習委託料(前年度からの事故繰越し)		0	300
14節	AED賃借料(消防車両10台、公共施設78台、屋外ボックス6台)		3,369	3,369
	AED賃借料(コンビニエンスストア59台)		3,187	3,187
	作業支援ロボットスーツ賃借料		1,102	1,102
18節	救急隊員研修用資器材(救急訓練用人形)備品購入費		2,552	2,351
	高圧蒸気滅菌器備品購入費		550	549
19節	神奈川県消防学校専科教育負担金		760	503
	三浦半島地区メディカルコントロール協議会負担金		871	871

救急救命士養成研修負担金(東京)	2,106	2,106
救急救命士養成研修負担金(横浜)	1,463	1,463
指導救命士養成教育負担金	143	143

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

指令活動事業

【

指令情報課

】

※重点事業(事業CD:5-1-3-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等を各種災害から保護するため。

効果 災害に強い、安心して暮らせるまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・市民等から各種災害通報を受信し、災害規模や種別に応じた消防・救急隊を選定し出動指令を行った。
- ・消防・救急活動を円滑に遂行するための支援業務及び関係機関との連携のための情報伝達業務を行った。
- ・消防救急無線のデジタル化について、共通波の管理・運用を県及び県内市町と共同で行うとともに活動波の管理・運用を行った。
- ・高機能消防指令センターの更新に向け、実施設計業務委託を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、高機能消防指令センター基本設計業務委託を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、車載型移動局無線装置を購入した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
101,565	112,012	99,760		12,252
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
9節	研修旅費		7	0
11節	消耗品費		2,029	2,029
	備品修繕料		24,082	21,004
12節	指令専用回線等電信料		11,858	10,961
13節	活動波保守委託料		14,068	14,068
	高機能消防指令センター保守点検委託料		31,578	31,578
	共通波保守委託料		3,301	3,301
	119番通報に係る電話通訳業務委託料		187	187
	高機能消防指令センター更新実施設計業務委託料		11,007	6,393
	高機能消防指令センター更新基本設計業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	3,762
	活動波再免許申請委託料		299	299
14節	NET119緊急通報システム利用料等		873	872
18節	車載型移動局無線装置備品購入費(前年度からの繰越明許費)		0	3,102
19節	災害緊急情報鎌倉エフエム負担金		1,992	1,923
	共通波運用管理等負担金等		284	281

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

予防活動事業

【

予防課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消防法令に基づき火災の予防及び火災時の的確な対応を確保し、立入検査により火災危険要因を排除するため。

効果 火災件数、火災による死傷者及び被害の軽減を図る。

【 事業の内容 】

- ・火災予防の指導・広報、火気使用設備・器具等の設置についての審査、危険物製造所等の設置等の許認可等を行った。
- ・火災予防など消防全般に対する相談の受付、事業所等に対する防火管理に関する指導、火災原因及び損害調査、年度査察計画に基づく査察を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,023	1,023	979		44
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	消防協力者報償費		25	0
9節	研修旅費		15	0
11節	消耗品費		855	852
	印刷製本費		31	31
19節	神奈川県消防学校専科教育負担金		97	96

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

消防総務課

】

【 対象となる職員 】

消防本部・鎌倉消防署・大船消防署

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	2,148,777	2,083,348
・ 2節 給料 一般職	880,257	871,315
消防職職員 247人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	937,385	886,458
扶養手当	39,782	40,732
地域手当	140,331	139,135
通勤手当	20,072	19,414
超過勤務手当	62,488	76,103
休日給	84,350	93,367
夜勤手当	1,757	1,739
管理職手当	15,476	15,475
特殊勤務手当	11,570	10,796
期末勤勉手当	396,345	401,118
住居手当	36,762	34,103
退職手当	101,476	25,922
管理職員特別勤務手当	1,666	1,679
児童手当	25,310	26,875
・ 4節 共済費	331,135	325,575
市町村職員共済組合負担金	330,890	325,331
雇用保険料	245	244

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 5 常備消防費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【 職員課・消防総務課 】

【 対象となる職員
消防本部消防総務課

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		1,526	1,221
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	911	967
	会計年度事務補助職員 1人		
・ 3節 職員手当等			
	期末手当	183	197
・ 4節 共済費		300	0
	市町村職員共済組合負担金	128	0
	社会保険料	172	0
・ 9節 旅費		132	57
	費用弁償		

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 10 非常備消防費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

消防団運営事業

【 消防総務課 】

※重点事業(事業CD:5-1-3-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防団員等

意図 消防団の装備、資機材及び消防団の運営活動の充実強化を図り、消防使命の達成に資するため。

効果 消防団及び消防団員の充実強化を図り、消防団員が安心できる消防団活動を行うことができる。

【 事業の内容 】

- ・ 消防団員への報酬の支払い、分団器具置場及び分団車両の維持修繕、消防団の装備の充実を図った。
- ・ 消防団員の出勤報酬等、消防団の活動に係る経費を支出した。
- ・ 消防団事業計画に基づく、団員の教育訓練研修、各市町との情報交換、消防機材及び器具置場の維持管理など、本団・分団事業に要する経費を交付金として助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
87,560	89,915	85,783		4,132
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	消防団員報酬 402人		42,065	42,046
4節	消防団員等公務災害補償等共済基金		1,466	1,441
5節	消防団員公務災害補償費		50	0
8節	消防団員退職報償費		9,000	6,632
	優良団員等報償費		167	136
9節	消防団員費用弁償		100	0
10節	消防団交際費		30	15
11節	消耗品費		11,339	10,831
	燃料費		506	403
	印刷製本費		14	12
	被服費		550	471
	分団器具置場各所修繕料		1,323	1,256
	第16分団器具置場屋根修繕料		0	1,190
	第17分団器具置場屋根修繕料		0	1,165
	車両修繕料		1,883	1,740
12節	IP無線機電信料		212	211
	自動車等保険料		599	539
13節	浄化槽保守点検及び清掃委託料		40	39
14節	分団器具置場土地等賃借料		378	371
19節	神奈川県消防協会負担金		1,534	1,533
	消防団員退職報償金負担金		8,448	8,448
	消防団員研修負担金		672	504
	鎌倉市消防団維持費交付金		6,831	6,448

27節 消防団車両公課費	353	352
<主な特定財源>		
・国県支出金		5,130

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 15 消防施設費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

消防施設整備事業

【

消防総務課

】

※重点事業(事業CD:5-1-3-4)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民及び消防職員等

意図 消防署所から遠距離にある地域の防火防災体制の強化等を図るとともに、防災拠点である消防署所の機能整備を図る。

効果 災害を最小限に抑え、救命率の向上及び、より快適、安全で安心に暮らせるまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 新たな消防施設(雪ノ下)の整備に向け、用地取得を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
110,000	110,000	108,374		1,626

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

17節 消防施設用地公有財産購入費

110,000 108,374

<主な特定財源>

・ 地方債

91,100

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 15 消防施設費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

消火栓管理事業

【

警防救急課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 消防水利

意図 火災等に対応するための水利の確保を行うため。

効果 市民を火災等から守る。

【 事業の内容 】

- ・ 水道事業者が行う配水管の新設及び交換等に併せて適地を選定したが、消火栓の新設はなかった。
- ・ 水道法の規定に基づき、消火栓の維持管理に要する経費を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,993	6,993	6,661		332
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節 消火栓路面焼付標示委託料			378	377
22節 消火栓維持管理等補償料			6,615	6,284

(款) 50 消防費 (項) 5 消防費 (目) 15 消防施設費

◎防災・安全 ○消防機能の整備・充実

車両購入事業

【 警防救急課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 消防機能の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 最新鋭の車両に更新し、火災等各種災害に対応できるようにするため。

効果 市民を災害から守る。

【 事業の内容 】

- ・各種緊急自動車の計画的な更新を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、災害対応多目的車(2台)の更新を行った。
- ・はしご付消防自動車(大船)は、車両本体の供給不足等により、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
293,325	297,559	76,901	213,585	7,073
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	高規格救急自動車積載医療用具消耗品費	1,478	1,126	
12節	自動車リサイクル手数料(翌年度への繰越明許費)	56	42	
	自動車リサイクル手数料(前年度からの繰越明許費)	0	13	
	自動車自賠責保険料(翌年度への繰越明許費)	39	30	
	自動車自賠責保険料(前年度からの繰越明許費)	0	15	
18節	高規格救急自動車(玉縄)購入費	24,262	19,470	
	高規格救急自動車積載医療用具購入費	18,485	18,059	
	小型動力ポンプ付軽積載車購入費(第12・18・22分団)	35,239	31,040	
	はしご付消防自動車(大船)購入費(翌年度への繰越明許費)	213,549	0	
	災害対応多目的車購入費(2台)(前年度からの繰越明許費)	0	7,040	
27節	自動車重量税(翌年度への繰越明許費)	217	53	
	自動車重量税(前年度からの繰越明許費)	0	13	

現有消防車両(令和6年(2024年)3月31日現在)

常備消防分

はしご付消防自動車 2台
化学消防ポンプ自動車 1台
水槽付消防ポンプ自動車 1台
消防ポンプ自動車 9台
高規格救急自動車 10台
救助工作車 2台
トレーラー(水難救助用水上オートバイ積載) 1台
査察車 2台
防災パトロール車 1台
資機材搬送車 1台
指令車(鎌倉消防署・大船消防署) 2台

非常備消防分

小型動力ポンプ付積載車 22台
小型動力ポンプ付軽積載車 6台

指揮車	1台
支援車	1台
災害対応多目的車	4台
水難救助用水上オートバイ	1台
その他の車両	3台

<主な特定財源>

・国県支出金	7,034
・地方債	55,300

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 5 教育委員会費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教育委員会運営事業

【

教育総務課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 教育委員

意図 教育の公平性、公正性を確保し、かつ透明性のある教育委員会の運営を行うため。

効果 教育行政の円滑な運営を図る。

【 事業の内容 】

- ・教育行政の推進を図るため、教育委員会を開催した。
- ・教育行政諸課題について他市町村と情報交換を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,004	6,004	5,912		92
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 委員報酬 4人			5,856	5,856
9節 研修会等費用弁償			64	4
11節 印刷製本費			10	10
19節 神奈川県市町村教育委員会連合会等負担金			74	42

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

事務局運営事業

【 教育総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 教育委員会事務局及び会計年度任用職員等

意図 教育委員会事務局及び教育機関の効果的・効率的な運営を行うため。

効果 教育行政の円滑な運営を行うとともに会計年度任用職員の活用により職員数の適正化を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 学校施設管理・学校給食調理業務等に支障を来さぬよう、会計年度任用職員を配置した。
- ・ 教育行政諸課題について他市町村との連携を図った。
- ・ 事務局運営に係る庶務的業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,099	13,099	8,428		4,671
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市教育委員会事務の点検・評価委員報酬 3人		102	102
8節	教育アドバイザー等謝礼		447	53
9節	会計年度任用職員費用弁償		190	91
	普通旅費		3,778	1,889
	研修旅費		481	156
10節	教育委員会交際費		80	71
11節	消耗品費		1,155	1,009
	教育長来客用食糧費		3	0
	印刷製本費		20	12
	車両修繕料		190	189
12節	筆耕翻訳料		330	126
	自賠責保険料		14	13
13節	産業廃棄物処理業務委託料		5,525	4,201
14節	電子マニフェスト利用料等		126	84
18節	文書送達用スクーター備品購入費		272	154
19節	神奈川県都市教育長協議会等負担金		386	278

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教職員運営事業

【 学務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 県費負担教職員

意図 教職員の健康管理を行い、学校教育の質の向上を図るため。

効果 教職員の心身の健康増進を図り、豊かで質の高い教育を実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 教職員の適正な人事配置を行った。
- ・ 学校管理職としての資質の向上を図るための研修を行った。
- ・ 一日健康診断を行い、教職員の健康増進に努めた。
- ・ 福利厚生活動を実施し、教職員の元気回復に努めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,332	12,332	10,084		2,248
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	学校訪問産業医報酬(学校訪問及び相談業務) 2人		322	137
	学校訪問産業医報酬(安全衛生協議会開催) 1人		50	37
	学校教職員ハラスメント相談員報酬		600	0
8節	学校管理職研修会講師等謝礼		34	28
11節	消耗品費		15	13
13節	一日健康診断委託料		5,185	4,151
	教職員福利厚生事業委託料		3,865	3,865
	メンタルヘルス調査業務委託料		438	288
14節	校長会等会場使用料		59	29
19節	神奈川県公立小中学校校長会等負担金		1,764	1,536

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

学校施設管理事業

【 学校施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 学校施設等

意図 良好な学校施設の管理を行うため。

効果 学校施設に係る適切な財産管理等を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 学校用地賃借事務、建物共済保険事務等、学校施設の管理事務を行った。
- ・ 学校整備計画検討協議会の意見を聴きながら、学校整備計画の検討を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
56,362	56,362	50,814		5,548
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	学校整備計画検討協議会委員報酬 8人	328	238	
8節	学校整備計画検討協議会委員謝礼	6	0	
11節	消耗品費	64	39	
12節	建物共済保険料	2,453	2,452	
13節	学校整備計画策定支援委託料	10,000	4,022	
	低濃度PCB廃棄物等収集運搬及び非PCB廃棄物処分業務委託料	287	0	
	低濃度PCB廃棄物運搬及び処分業務委託料	193	0	
	低濃度PCB廃棄物等収集運搬及び処分業務委託料	0	346	
	非PCB収集運搬及び処分業務委託料	0	71	
	小中学校変圧器PCB含有量分析業務委託料	0	1,291	
14節	学校用地賃借料	41,393	41,425	
	第二中学校テニスコート用地使用料	1,452	744	
	軽貨物自動車賃借料	186	186	

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

学校安全対策事業

【 学校施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 学校施設等

意図 良好な学校施設の管理を行うため。

効果 児童等の安全確保及び学校施設に係る適切な財産管理等を行う。

【 事業の内容 】

- ・ 小学校に学校警備員を配置し、児童等の安全確保を図った。
- ・ 学校施設に係る機械警備委託を行った。
- ・ 第一中学校通学路法面整備工事について、工期の見直しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
113,020	50,701	49,758		943
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	小学校警備委託料		35,772	35,772
	学校機械警備委託料		5,259	5,259
	警備機器移設・再設置委託料		100	0
	第一中学校通学路法面整備工事積算業務委託料		4,170	3,025
15節	第一中学校通学路法面整備工事請負費(継続事業・5年度分)		62,319	0
22節	第一中学校通学路法面整備工事に係る電柱移設補償金		5,400	5,702

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

教育総務課

】

【 対象となる職員 】

教育長

教育文化財部のうち教育総務課・多様な学びの場づくり担当・学校施設課・学務課

・教育指導課・教育センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	544,570	521,062
・ 2節 給料 特別職 1人	8,592	8,592
一般職	215,767	221,144
一般職職員 58人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	240,484	210,618
扶養手当	4,996	5,678
地域手当	35,392	36,369
通勤手当	5,641	6,131
超過勤務手当	18,706	18,373
休日給	114	387
管理職手当	9,443	9,557
期末勤勉手当	100,994	104,185
住居手当	7,366	5,736
退職手当	54,764	20,746
管理職員特別勤務手当	113	6
児童手当	2,955	3,450
・ 4節 共済費	79,727	80,708
市町村職員共済組合負担金	79,228	80,343
社会保険料	315	185
雇用保険料	184	180

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 10 事務局費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【 職員課・教育総務課 】

【 対象となる職員 】

こどもみらい部こども支援課

教育文化財部のうち教育総務課・学務課・教育指導課・教育センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		481,916	420,270
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	350,615	325,498
	会計年度事務補助職員 10人		
	会計年度学校技能員 48人		
	学校給食調理補佐職員 5人		
	学校給食調理補助職員 16人		
	学校給食調理代用職員 8人		
	学校給食栄養補助職員 1人		
	就学時健康診断介助員 3人		
	就学時健康診断事務員 9人		
	学校図書館専門員 18人		
	読書活動推進員 9人		
	図書館業務補助職員		
	学校運営指導員 1人		
	小・中学校市費負担非常勤講師 35人		
	外国語指導助手 6人		
	スクールアシスタント 16人		
	教育委員会理学療法士 1人		
	学級介助員 80人		
	看護学級介助員 2人		
	教育相談員 9人		
	教育支援員 3人		
	スクールソーシャルワーカー 1人		
	教育指導員 2人		
・ 2節 給料	会計年度任用職員	2,566	1,710
	特別支援学級補助員 1人		
・ 3節 職員手当等		67,617	61,525
	地域手当	385	256
	通勤手当	252	34
	超過勤務手当	30	0
	期末手当	66,950	61,235
・ 4節 共済費		26,129	17,639
	市町村職員共済組合負担金	768	463
	公立学校共済組合負担金	9,772	6,100
	社会保険料	13,633	9,031
	雇用保険料	1,956	2,045
・ 9節 旅費		34,989	13,898
	費用弁償		

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

就学支援事業

【

学務課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 経済的理由により高等学校等への就学が困難な生徒の保護者等

意図 保護者の経済的負担を軽減し、高等学校教育に対する支援を行うため。

効果 保護者が安心して生徒を就学させることができ、教育の機会均等が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 県や湘南地区の高等学校定時制、通信制の教育振興会への負担金を支出した。
- ・ 高等学校等への就学が困難な生徒の保護者に対して就学援助金を支出した。
- ・ 就学援助基金を管理し、計画的に基金の積み立て、取崩しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,814	40,374	36,510		3,864
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	湘南地区高等学校定時制教育振興会等負担金		114	113
20節	高等学校等就学援助金 326人		13,500	9,780
25節	就学援助基金新規積立金		0	3,360
	就学援助基金寄附等積立金		31,200	23,257

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費
 ◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

学校保健事務	【	学務課	】
---------------	---	-----	---

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒

意図 児童生徒の健康の保持増進のため。

効果 学校保健の円滑な実施と成果の確保を図る。

【 事業の内容 】

・児童生徒の健康の保持・増進を図るため、各種検診や保健指導などを実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額		予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
60,729		58,779	56,576		2,203
<支出内訳>				当初予算額	支出済額
1節	学校医報酬 113人			35,503	35,503
	学校薬剤師報酬 25人			4,580	4,580
8節	腎臓疾患及び糖尿病判定委員謝礼			480	440
	心臓疾患判定委員謝礼			140	140
	運動器疾患判定委員等謝礼			340	130
9節	会計年度任用職員費用弁償			192	84
11節	消耗品費			646	637
	印刷製本費			21	19
	医薬材料費			116	114
12節	環境衛生検査等手数料			523	407
13節	就学時健康診断業務委託料			1,802	1,802
	腎臓病及び糖尿病検診業務委託料			3,919	3,060
	心臓病検診業務委託料			5,840	4,779
	歯科保健指導業務委託料			2,261	2,016
	検診器具滅菌配送業務委託料			2,201	2,074
	結核健康診断精密検査業務委託料			1,023	86
	プール水水質検査業務委託料			744	310
14節	学校保健大会会場使用料			45	43
19節	日本学校歯科医会会費等負担金			353	352

腎臓病検診

		受診者(人)	金額
一・二次検診 及び精密検診	小学校	7,364	2,051
	中学校	3,274	959
	計	10,638	3,010
定期検尿	小学校	25	24
	中学校	28	26
	計	53	50

心臓病検診

		受診者(人)	金額
一次検診	小学校	1,237	2,449
	中学校	1,115	2,208
	計	2,352	4,657
二次検診 (負荷心電図検査含)	小学校	1	10
	中学校	8	112
	計	9	122

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

就学事務

【

学務課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 義務教育を的確に行うため。

効果 適切な学校教育の実施を図る。

【 事業の内容 】

・小中学校への就学決定等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
341	341	256		85
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	学区審議会委員報酬 7人		72	0
11節	就学用消耗品費		103	101
	卒業証書等印刷製本費		166	155

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

学校保険事務

学務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 学校管理下における児童生徒等の不測のけがや疾病及び賠償責任に対して、必要な保障を行うため。

効果 災害共済給付制度及び保険加入により、不測の事故等災害に対して児童生徒の保護者の経済的負担を軽減し、安心して学校生活を送れるようにするとともに、学校責任による賠償にも対応を図る。

【 事業の内容 】

・学校管理下における児童生徒の負傷・疾病等に備え、各種保険金や掛金等を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
11,297	11,297	11,158		139
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
12節 学校賠償責任等保険料			957	932
19節 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済掛金			10,330	10,226
学校事故見舞金			10	0

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教育指導運営事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 学校教育運営を円滑に図るため。

効果 円滑な学校教育運営の実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・ いじめ防止等に向けて、学校、地域、関係機関及び団体等が連携した取組を円滑に進めることが出来るよう、いじめ問題対策連絡協議会及びいじめに関する調査委員会を開催した。
- ・ 各種会議及び協議会に参加し専門的資質の向上を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,552	3,498	3,093		405
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
1節	いじめに関する調査委員会委員報酬 5人		312	404
	教科用図書採択検討委員会委員報酬 2人		35	35
8節	いじめ問題対策連絡協議会委員等謝礼		62	30
9節	会計年度任用職員等費用弁償		130	34
11節	消耗品費		328	254
14節	会議室等使用料		772	594
	スポーツ施設公用使用料		99	0
19節	神奈川県中学校体育連盟等負担金		1,814	1,742

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

情報教育事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 小・中学校教育用コンピュータの整備及びインターネットへの接続により、情報教育の推進・充実を図るため。

効果 情報教育の推進・充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・市立小・中学校の教育用及び校務用コンピュータや周辺機器を運用することで教育の充実と校務の効率化を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
74,458	72,926	71,973		953
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		497	103	
コンピュータ等維持修繕料		1,000	478	
13節 教育用ネットワーク回線引き込み委託料		495	495	
サーバ機器等移設委託料		3,437	2,002	
14節 小・中学校教育用コンピュータ等賃借料		44,654	44,654	
小・中学校校務用コンピュータ等賃借料		8,191	8,113	
小・中学校教育用・校務用周辺機器等賃借料		15,125	15,125	
オフィスソフトライセンス使用料		1,059	1,003	

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費
 ◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

ICT教育環境整備事業

【 教育指導課 】

※重点事業(事業CD:4-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 今後の情報化社会で必要とされる情報活用能力等を育成していくため。

効果 今後の情報化社会に対応した情報教育環境の整備・充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・市立小・中学校の校舎内Wi-Fi等情報環境の維持や運用を図った。
- ・鎌倉市教育ネットワークの高速データ通信及びセキュリティの強靱化を図った。
- ・電子黒板と児童生徒1人1台タブレット端末を活用し、AIドリルサービスなどの教育サービスを利用しながら学校教育の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
534,210	517,101	489,763		27,338
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	GIGAスクールアドバイザー講師謝礼		36	12
13節	GIGAスクールサポーター委託料(一般校)		7,220	7,220
	校内LAN整備事業業務委託料		2,387	0
	充電保管庫設置業務委託料		1,065	500
	タブレット年次更新作業委託料		2,684	2,455
	教育用ネットワーク回線引き込み委託料		540	540
	教育用ネットワーク機器設置委託料		474	474
	教育用ネットワーク配線等委託料		418	418
14節	資産管理システム等賃借料		4,092	4,092
	SINET・GIGA対応回線使用料		26,915	26,915
	小・中学校校務支援システム賃借料		9,636	9,636
	教育ネットワークシステムセンターサーバー等賃借料		10,507	10,507
	大型提示装置等賃借料		24,425	24,838
	小・中学校児童生徒用タブレット端末等賃借料		302,544	302,543
	小・中学校教員用タブレット端末等賃借料		51,523	51,523
	AIドリル使用料		26,553	26,553
	プログラミング教材使用料		2,640	2,420
	指導者用デジタル教科書使用料		58,589	17,265
	インターネット回線使用料		222	197
22節	授業目的公衆送信補償金		1,740	1,655
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,451
～				

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教育支援事業

【 教育指導課・教育総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 育成事業の実施、外国語指導助手及び各種補助指導者等の派遣を行い、学校教育の充実に向け支援するため。

効果 学校教育の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・外国語指導助手、日本語指導等協力者及び医療従事者等を派遣し、学校教育の充実を図った。
- ・小学校に学校図書館専門員を配置し、学校図書館の充実・読書活動の充実を図った。
- ・少人数学級編制・少人数指導を行い、学習及び生活指導の充実を図った。
- ・9年間を見通した教育課程を編成・実施し、中学校ブロックにおいて小中連携の取組を強化した。
- ・SDGs等をテーマにし、自ら課題を見つけ解決する資質を育む教育活動を実践した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,340	18,115	16,428		1,687
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	小学校英語活動サポーター謝礼	1,410	1,366	
	全国大会等出場祝金	250	155	
	日本語指導等協力者等謝礼	1,413	965	
	鎌倉スクールコラボファンド活用事業講師謝礼	750	509	
9節	会計年度任用職員等費用弁償	1,641	529	
11節	消耗品費	298	297	
12節	外部指導者傷害保険等保険料	104	97	
13節	小学校能狂言鑑賞・体験教室実施業務委託料	2,379	2,378	
	小学校校外学習医療従事者付添業務委託料	995	982	
	鎌倉スクールコラボファンド活用事業委託料	2,000	499	
	SDGsをテーマとした課題解決型学習実施委託料	3,000	2,998	
14節	小・中学校音楽会等施設使用料	2,250	1,936	
19節	全国大会等出場負担金	100	0	
	総合的な学習の時間等実践交付金	3,750	3,717	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			381

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

コミュニティスクール整備事業

【 教育指導課・生涯学習課 】

※重点事業(事業CD:4-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 輝く子供たちの未来の創造に向け、学校と地域がパートナーとして連携した取組を進めるため。

効果 学校・家庭・地域が一体となってよりよい教育の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉版コミュニティスクールを実践し、地域学校協働活動推進員を中心とした取組を推進した。
- ・ 学校と地域社会の連携を進め、「地域とともにある学校づくり」を推進した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,707	4,707	1,195		3,512
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	地域学校協働活動推進員等謝礼		3,780	1,134
	コミュニティスクール委員等謝礼		480	5
9節	費用弁償		127	2
11節	消耗品費		164	41
	印刷製本費		156	13
<主な特定財源>				
	・国県支出金			740

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 15 教育指導費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

特別支援教育事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 特別な支援を必要とする児童生徒の教育の場の充実を図るため。

効果 個に応じた支援の充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 特別な支援を必要とする児童生徒の就学・進学に関する観察・協議を行うため、就学支援委員会を開催した。
- ・ 肢体不自由学級児童生徒の送迎バスを運行委託した。
- ・ 学級介助員、スクールアシスタント等を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の教育の場の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,787	13,787	9,410		4,377
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 就学支援委員会委員報酬 3人			184	164
9節 会計年度任用職員費用弁償			336	138
12節 階段昇降機保守点検手数料			32	32
機能訓練対象児童生徒傷害等保険等保険料(特学)			112	86
13節 肢体不自由学級児童生徒送迎バス運行業務委託料(特学)			10,680	7,285
階段昇降機移設業務委託料			18	18
14節 階段昇降機賃借料			713	713
19節 学級介助員等負担金			1,712	974
<主な特定財源>				
・国県支出金				88

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 20 教育センター費
 ◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

相談室事業

【 多様な学びの場づくり担当・教育センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 幼児から青少年まで(主に学齢期)の本人とその保護者等

意図 いじめや不登校などの悩みに対し、適切なカウンセリングや、児童生徒を取り巻く環境への働きかけ、関係機関との連携構築等を介して支援を行うため。

効果 いじめや不登校などに悩む対象者が安心して学校生活や、社会生活を送れるようにする。

【 事業の内容 】

- ・ 電話・面接・訪問・心理検査により、児童生徒・保護者への相談、支援を実施した。
- ・ 教育相談員の定期学校訪問により、学校における教育相談を支援した。
- ・ 教育支援(集団生活への適応・基礎学力の補充)を実施した。
- ・ 主に学校における学習に馴染めない児童生徒に対して興味や関心等に応じた課題探究プログラムを提供するとともに教職員等を対象にプログラム開発に関する研修を実施した。
- ・ 令和7年(2025年)4月に予定している学びの多様化学校(不登校特例校)設置に向けた準備として、学校の運営方針等に係る検討を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,150	11,650	10,570		1,080
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	メンタルフレンド謝礼	70	20	
	スーパーバイザー謝礼	240	220	
	精神科医師相談謝礼	80	80	
	かまくらULTLAプログラム運営協議会出席者謝礼	50	50	
9節	会計年度任用職員費用弁償	780	589	
11節	消耗品費	467	391	
	印刷製本費	47	47	
	光熱水費	1,809	768	
	教育支援教室小破修繕料	760	746	
12節	電信料	266	198	
	教育支援教室消防設備点検手数料	29	28	
	メンタルフレンドボランティア保険料	5	3	
13節	教育支援教室機械警備業務委託料	77	76	
	教育支援教室トイレ清掃業務委託料	95	95	
	かまくらULTLAプログラム業務委託料	7,081	7,081	
14節	会議室等使用料	264	148	
19節	知能検査講習会負担金	30	30	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			7,292

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 20 教育センター費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

調査研究研修事業

【 教育センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の教職員

意図 教育の今日的課題の解決に向けての研究・研修を進め、教育活動の支援を行うため。

効果 教職員の資質の向上を図り、今日的課題の解決能力を高める。

【 事業の内容 】

- ・教員並びに幼稚園・認定こども園・保育園の職員で研究会を組織し、教育現場の諸課題についての研究を行うとともに、幼児教育との連携を図った。
- ・教育現場の諸課題に対応し、その解決を図るための研修会を実施した。
- ・校内研修に講師を派遣し、授業・研修を行い学校の諸課題の解決を支援した。
- ・教育指導員を学校に派遣し、教職員への指導・助言を行い、その資質・指導力の向上を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,075	2,075	1,588		487
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	研究会・研修会講師等謝礼		1,488	1,258
9節	会計年度任用職員等費用弁償		197	3
11節	研究用図書等消耗品費		162	157
14節	会議室等使用料		206	148
19節	神奈川県教育研究所連盟負担金		22	22
<主な特定財源>				
	・国県支出金			16

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 20 教育センター費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

教育情報事業

【 教育センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
分野 学校教育
施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小・中学校の児童生徒等

意図 郷土学習の補助として、小・中学校の理科・社会科の学習資料を発行して郷土の理解を図るため。

効果 児童生徒が、鎌倉についての郷土理解と郷土愛を育むことを図るため。

【 事業の内容 】

- ・市内小・中学校の郷土学習の学習資料を作成し、配付・配信した。
- ・「かまくら子ども風土記」を発行(販売)し、郷土の歴史や文化等について理解を図った。
- ・教育情報の収集・提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,281	1,281	1,177		104
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 「鎌倉教育史第三巻」編集委員等謝礼			255	255
所報「かまくら教育」執筆者謝礼			10	10
11節 小学校社会科学習資料「かまくら」印刷製本費			957	876
13節 「かまくら子ども風土記」販売委託料			59	36

(款) 55 教育費 (項) 5 教育総務費 (目) 25 幼児教育奨励費

◎子育て ○子育て家庭への支援

就園支援事業

【 こども支援課 】

※重点事業(事業CD:4-2-1-7)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 子育て

施策の方針 子育て家庭への支援

【 事業の目的 】

対象 子ども・子育て支援法に基づく確認を受けない幼稚園等へ子どもを通園させている保護者等

意図 子育てにかかる経済的負担の軽減を図り、また、幼児教育の充実に貢献するため。

効果 子育て家庭の経済的負担の軽減や、幼児教育の充実により子育て支援施策の充実が図られる。

【 事業の内容 】

- ・新制度未移行幼稚園を利用する場合に負担する費用について、幼児教育・保育の無償化を実施した。
- ・幼児教育の充実に図るため、新制度未移行幼稚園における教材教具購入等の費用及び園児の健康診断の費用に対し、私立幼稚園教材教具購入費等及び健康診断費補助金を交付した。
- ・幼児教育向上のため研修会を実施し、指導力の充実と幼稚園相互の連携を深める目的で、鎌倉私立幼稚園協会に補助金を交付した。
- ・子育て支援施策、待機児童対策として、新制度未移行幼稚園の預かり保育に対して補助を行った。
- ・幼児教育無償化の実施に伴う事務の負担軽減のため、新制度未移行幼稚園における事務費等に対して補助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
257,398	229,052	215,410		13,642
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 卒園児記念品等			718	639
11節 消耗品費			24	22
19節 私立幼稚園教材教具購入費等及び健康診断費補助金			3,400	3,347
鎌倉私立幼稚園協会補助金			1,350	1,350
私立幼稚園預かり保育推進事業費補助金			7,262	8,134
民間保育所等給食費・光熱費補助金			0	26
私立幼稚園幼児教育無償化事務費等補助金			2,160	1,855
20節 幼児教育無償化扶助費(新制度未移行幼稚園)			218,964	184,301
幼児教育無償化扶助費(新制度未移行幼稚園預かり保育)			3,780	4,518
副食費補足給付			540	163
鎌倉市地域における多様な集団活動利用支援事業補助金			19,200	11,055
<主な特定財源>				
・国県支出金				152,474

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費
 ◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

小学校運営事業

【 教育総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小学校の児童等

意図 安定した学校運営を支援するため。

効果 質の高い公教育の実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 小学校16校の授業、行事等の学校生活に必要な物品、役務の調達などにより、小学校運営の充実を図った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、新型コロナウイルス感染症対策として、換気に必要なサーキュレーター、空気清浄機等の購入を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、小学校教員用パソコンの購入を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
118,164	153,804	132,000		21,804
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 研修会講師等謝礼			55	55
10節 小学校交際費			90	33
11節 教材用他消耗品費			89,353	101,094
学校保健特別対策消耗品費(前年度からの繰越明許費)			0	1,131
プロパンガス・灯油等燃料費			4,625	4,191
来客用食糧費			6	5
印刷製本費			4	4
校舎小破等維持修繕料			3,425	1,906
教材教具等備品修繕料			1,641	2,311
保健用医薬材料費			739	732
12節 保健衛生用等手数料			957	889
筆耕翻訳料			355	340
13節 校舎維持等委託料			3,079	2,830
遊具・体育器具点検委託料			137	544
備品廃棄処分委託料			1,600	1,067
バスケットゴール点検委託料			550	121
14節 ケーブルテレビ使用料			592	591
清掃用具賃借料			665	665
印刷機賃借料			718	718
NHK放送受信料等			680	473
18節 教材教具等備品購入費			6,493	7,007
教材用楽器整備備品購入費			2,400	2,303
小学校教員用パソコン購入費(前年度からの繰越明許費)			0	2,594
学校保健特別対策備品購入費(前年度からの繰越明許費)			0	396

<主な特定財源>

・国県支出金

1,900

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

小学校給食事務

【

学務課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小学校に就学する児童

意図 小学校の完全給食を実施するため。

効果 児童の心身の健全な発達の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・安全で安心な給食を実施した。
- ・給食を通した食に関する指導を推進した。
- ・衛生検査の実施や研修会を開催し、給食調理現場の安全作業環境の維持に努めた。
- ・給食用機器類(食器・備品)の更新を行った。
- ・給食費の徴収管理及び食材料費の支払等を適正に実施した。
- ・提供する給食の食材に、できる限りオーガニック農産物や地場産品を取り入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
778,191	778,061	769,305		8,756
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	安全衛生研修会講師謝礼	10	10	
11節	給食用補充食器等消耗品費	11,316	8,857	
	放射性物質測定用食材消耗品費	15	7	
	備品修繕料	2,600	1,778	
	賄材料費	433,933	424,137	
	医薬材料費	30	29	
12節	腸内細菌培養検査等手数料	357	248	
13節	深沢小学校及び山崎小学校給食調理等業務委託料	59,375	59,375	
	小坂小学校及び今泉小学校給食調理等業務委託料	49,755	49,755	
	西鎌倉小学校及び玉縄小学校給食調理等業務委託料	57,241	55,781	
	第一小学校及び腰越小学校給食調理等業務委託料	54,087	54,087	
	第二小学校及び御成小学校給食調理等業務委託料	48,969	48,969	
	小学校給食費管理等業務委託料	30,175	30,175	
	小学校給食残さ収集運搬業務委託料	3,049	2,508	
	小学校給食残さ資源化業務委託料	1,446	1,411	
	小学校栄養士派遣業務委託料	0	6,749	
14節	研修会場使用料	65	20	
18節	食器洗浄機備品購入費	12,540	4,180	
	器具用熱風消毒保管庫備品購入費	8,800	3,300	
	昇降式熱風消毒保管庫備品購入費	4,180	14,955	
	高速度ミキサー等備品購入費	248	2,974	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			24,050

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

小学校研究・研修事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小学校の児童等

意図 教員の指導力を向上させるための研究・研修の充実を図るため。

効果 教員の指導力の向上、指導方法の工夫改善により、児童の学習意欲を高め、確かな学力の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・各校において、教育課程や児童指導等の課題について研究・研修に取り組んだ。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
400	400	392		8
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	研究・研修講師謝礼		350	344
11節	消耗品費		50	48

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費
 ◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

小学校施設管理運営事業

【 教育総務課・学校施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 市立小学校16校

意図 小学校の施設・設備の機能を維持するため。

効果 児童の安全・安心な教育環境を整える。

【 事業の内容 】

- ・ 小学校施設・設備の機能を維持し、安全を確保するため、各種点検、修繕等を行った。
- ・ 小学校16校分の光熱水費、電信料等を執行した。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、新型コロナウイルス感染症対策として、換気ができるよう網戸設置等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
409,989	358,538	321,460		37,078
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			2,686	2,316
光熱水費			264,802	172,814
小学校施設小破修繕料			79,926	80,495
小学校施設小破修繕料(前年度からの繰越明許費)			0	722
12節 電信料			4,857	4,424
自家用電気工作物点検手数料			3,275	3,082
消防用設備等点検手数料			1,452	1,143
給食用小荷物専用昇降機点検手数料			1,186	1,032
御成小学校エレベーター点検手数料			818	818
関谷小学校エレベーター点検手数料			762	599
第一種特定製品点検手数料			4,491	3,410
防火シャッター等点検等手数料			459	455
13節 トイレ清掃委託料			9,573	9,303
受水槽等清掃委託料			1,670	1,353
給食室換気扇・天井等清掃委託料			2,376	2,173
給食室ガス器具点検委託料			1,750	1,772
自動ドア保守点検委託料			297	297
濾過機保守点検委託料			404	404
緊急時用浄水装置保守点検委託料			176	123
ガスヒートポンプエアコン保守点検委託料			1,160	1,160
油汚泥収集運搬等委託料			1,361	1,292
油汚泥処分委託料			1,475	1,475
漏水調査委託料			656	83
植栽維持管理委託料			2,484	2,452
体育館床樹脂皮膜塗布委託料			1,876	1,501

	小学校施設管理委託料	17,289	17,289
	校内設備設置等委託料	1,600	995
	網戸設置業務委託料(前年度からの繰越明許費)	0	7,351
14節	小学校電話設備賃借料	1,128	1,127
<主な特定財源>			
	・国県支出金		8,074

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 5 学校管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 教育総務課 】

【 対象となる職員
小学校 】

【 職員給与費 】		(単位:千円)	
<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		277,211	271,421
・ 2節 給料	一般職	142,540	140,493
	一般職職員 39人		
	短時間勤務職員 4人		
・ 3節 職員手当等		85,746	84,260
	扶養手当	1,310	1,084
	地域手当	21,562	21,319
	通勤手当	4,253	4,064
	超過勤務手当	732	689
	休日給	15	0
	特殊勤務手当	28	7
	期末勤勉手当	52,467	53,265
	住居手当	4,419	3,152
	児童手当	960	680
・ 4節 共済費		48,925	46,668
	公立学校共済組合負担金	46,992	44,670
	社会保険料	964	1,055
	雇用保険料	969	943

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 10 教育振興費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

小学校特別支援教育事業

【 教育総務課・教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立小学校の特別支援学級(特別支援学級及び通級指導教室)に通う児童

意図 安定した特別支援学級(特別支援学級及び通級指導教室)の運営を支援するため。

効果 質の高い特別支援学級(特別支援学級及び通級指導教室)の運営を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 特別支援教育を円滑に実施するため、通級指導教室を含めた学級数及び児童数により、予算を各小学校に配当し、授業、行事などの学校生活に必要な物品、役務の調達や管理などを行った。
- ・ 稲村ヶ崎小学校特別支援学級開設に向け必要な物品の調達を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,470	7,470	7,422		48
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	研修会講師等謝礼(特学・通級)		362	355
11節	教材用消耗品費(特学・通級)		4,722	4,720
	稲村ヶ崎小学校特別支援学級初度調弁(特学)		1,442	1,432
12節	ピアノ調律手数料(特学)		42	40
13節	オージオメーター等点検委託料(通級)		307	306
	稲村ヶ崎小学校特別支援学級内線電話設置委託料(特学)		86	86
18節	稲村ヶ崎小学校特別支援学級備品購入費(特学)		509	483

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 10 教育振興費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

小学校教育振興助成事業

学務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 経済的理由により就学が困難な児童の保護者や、特別支援学級に就学している児童の保護者

意図 保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施を図るため。

効果 保護者が安心して児童を就学させることができ、教育の機会均等が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 要保護及び準要保護児童に対して必要な扶助を行った。
- ・ 特別支援学級・ことばの教室等に就学する児童に対して必要な扶助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
107,559	94,659	77,687		16,972
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
20節 要保護及び準要保護児童扶助費		100,719	74,394	
内訳				
学用品費		12,793	10,338	
通学用品費		2,122	1,696	
校外活動費(宿泊を伴わないもの)		1,760	1,418	
校外活動費(宿泊を伴うもの)		886	575	
新入学児童等学用品費		22,812	16,962	
修学旅行費		4,538	2,576	
通学費		300	48	
給食費		54,090	39,996	
医療費		10	0	
めがね検眼・購入費		1,408	785	
特別支援教育就学奨励費		6,840	3,293	
内訳				
学用品費		671	365	
通学用品費		103	59	
校外活動費(宿泊を伴わないもの)		110	60	
校外活動費(宿泊を伴うもの)		57	39	
新入学児童学用品費		838	332	
修学旅行費		354	113	
通学費		712	291	
給食費		3,388	1,629	
言語・難聴・情緒通級費		607	405	
<主な特定財源>				
・国県支出金				1,457

(款) 55 教育費 (項) 10 小学校費 (目) 15 学校建設費
 ◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

小学校施設整備事業

【 学校施設課 】

※重点事業(事業CD:4-3-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 市立小学校16校

意図 小学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため。

効果 児童の安全・安心な教育環境を整える。

【 事業の内容 】

- ・ 防犯カメラの設置・更新及び管理業務委託を行った。
- ・ 給食室冷暖房設備の設置設計業務委託を行った。
- ・ 稲村ヶ崎小学校の特別支援学級教室改修工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
111,355	98,239	97,883		356
＜支出内訳＞			当初予算額	支出済額
13節	防犯カメラ設置・更新及び管理業務委託料		4,755	4,242
	給食室冷暖房設備設置設計業務委託料		61,600	49,245
15節	稲村ヶ崎小学校特別支援学級教室改修工事請負費		45,000	44,396

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校運営事業

教育総務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立中学校の生徒等

意図 安定した学校運営を支援するため。

効果 質の高い公教育の実施を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 中学校9校の授業、行事等の学校生活に必要な物品、役務の調達などにより、中学校運営の充実を図った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、新型コロナウイルス感染症対策として、換気に必要なサーキュレーター、空気清浄機等の購入を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、中学校教員用パソコンの購入を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63,566	83,147	70,782		12,365
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
10節	中学校交際費	70	10	
11節	教材用他消耗品費	39,418	38,068	
	学校保健特別対策消耗品費(前年度からの繰越明許費)	0	2,087	
	プロパンガス・灯油等燃料費	1,939	689	
	来客用食糧費	7	6	
	印刷製本費	6	2	
	校舎小破等維持修繕料	2,481	1,760	
	教材教具等備品修繕料	1,510	1,949	
	保健用医薬材料費	364	354	
12節	保健衛生用等手数料	743	732	
	筆耕翻訳料	318	297	
13節	校舎維持等委託料	2,804	2,543	
	備品廃棄処分委託料	850	684	
	体育器具点検委託料	71	308	
	バスケットゴール点検委託料	550	121	
14節	清掃用具賃借料	466	466	
	印刷機賃借料等	785	609	
18節	教材教具等備品購入費	8,484	8,322	
	教材用楽器整備備品購入費	2,700	2,386	
	中学校教員用パソコン購入費(前年度からの繰越明許費)	0	8,646	
	学校保健特別対策備品購入費(前年度からの繰越明許費)	0	743	
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			3,258

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校給食事務

学務課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立中学校に就学する生徒

意図 中学校の完全給食を実施するため。

効果 生徒の心身の健全な発達の促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・安全で安心な給食を実施した。
- ・生徒に栄養バランスのとれた給食を提供するための献立を作成した。
- ・給食予約等の適正な管理運用に努めた。
- ・中学校給食の特色を周知するため、保護者説明会や試食会を実施した。
- ・提供する給食の食材に、できる限りオーガニック農産物や地場産品を取り入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
245,592	257,849	244,502		13,347
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		2,729	2,089	
印刷製本費		187	156	
備品修繕料		0	179	
中学校給食用納入食材賄材料費		1,140	13,404	
12節 電信料		52	33	
食品検査等手数料		39	35	
13節 給食調理等業務委託料		228,245	215,406	
給食予約等管理運用業務委託料		13,200	13,200	
<主な特定財源>				
・国県支出金				12,295

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校研究・研修事業

【 教育指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立中学校の生徒等

意図 教員の指導力を向上させるための研究・研修の充実を図るため。

効果 教員の指導力の向上、指導方法の工夫改善により、生徒の学習意欲を高め、確かな学力の向上を図る。

【 事業の内容 】

・各校において、教育課程や生徒指導等の課題について研究・研修に取り組んだ。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
200	200	198		2

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

8節 研究・研修講師謝礼

156 154

11節 消耗品費

44 44

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費
 ◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

中学校施設管理運営事業

【 教育総務課・学校施設課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 市立中学校9校

意図 中学校の施設・設備の機能を維持するため。

効果 生徒の安全・安心な教育環境を整える。

【 事業の内容 】

- ・ 中学校施設・設備の機能を維持し、安全を確保するため、各種点検や修繕を行った。
- ・ 中学校9校分の光熱水費、電信料等を執行した。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、新型コロナウイルス感染症対策として、換気ができるよう網戸設置等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
167,869	154,645	122,285		32,360
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			2,219	1,989
光熱水費			92,828	56,769
中学校施設小破修繕料			44,456	40,807
中学校施設小破修繕料(前年度からの繰越明許費)			0	125
12節 電信料			3,107	2,561
自家用電気工作物点検手数料			1,895	1,768
消防用設備等点検手数料			748	617
第二中学校エレベーター点検手数料			984	983
御成中学校エレベーター点検手数料			805	805
大船中学校エレベーター点検手数料			1,790	1,790
玉縄中学校エレベーター点検手数料			957	957
第一種特定製品点検手数料			2,440	1,788
防火シャッター等点検等手数料			237	236
13節 トイレ清掃委託料			3,719	2,665
受水槽等清掃委託料			695	693
浄化槽清掃委託料			96	95
浄化槽保守点検委託料			35	34
濾過機保守点検委託料			184	184
緊急時用浄水装置保守点検委託料			88	62
ガスヒートポンプエアコン保守点検委託料			1,217	1,217
油汚泥収集運搬等委託料			206	195
油汚泥処分委託料			132	132
漏水調査委託料			719	214
植栽維持管理委託料			2,484	2,023
体育館床樹脂皮膜塗布委託料			1,134	908
中学校施設管理委託料			1,185	272

	校内設備設置等委託料	900	0
	網戸設置業務委託料(前年度からの繰越明許費)	0	1,639
14節	中学校電話設備賃借料	634	634
	<u>カーボン・マネジメント強化事業に係る賃借料</u>	1,975	123
<主な特定財源>			
	・国県支出金		1,764

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【

教育総務課

】

【 対象となる職員 】
 中学校

【 職員給与費 】 (単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	61,289	64,929
・ 2節 給料 一般職	32,649	34,166
一般職職員 9人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	17,334	19,226
扶養手当	452	601
地域手当	4,945	5,215
通勤手当	850	855
超過勤務手当	345	208
休日給	20	0
特殊勤務手当	28	43
期末勤勉手当	10,041	11,647
住居手当	353	537
児童手当	300	120
・ 4節 共済費	11,306	11,537
公立学校共済組合負担金	10,599	10,833
社会保険料	224	232
雇用保険料	483	472

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 5 学校管理費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

【 教育総務課 】

【 対象となる職員 】
 教育文化財部学務課

【 職員給与費 】		(単位:千円)	
<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		2,331	29
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	1,528	0
	学校給食栄養補助職員 0人		
・ 3節 職員手当等		305	0
	期末手当		
・ 4節 共済費		330	29
	市町村職員共済組合負担金	128	0
	社会保険料	173	0
	雇用保険料	29	29
・ 9節 旅費		168	0
	費用弁償		

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 10 教育振興費

◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校特別支援教育事業

【

教育総務課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 市立中学校の特別支援学級に通う生徒

意図 安定した特別支援学級の運営を支援するため。

効果 質の高い特別支援学級の運営を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 特別支援教育を円滑に実施するため、授業、行事などの学校生活に必要な物品、役務の調達や管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,767	3,767	3,766		1

<支出内訳>

11節 教材用消耗品費

12節 ピアノ調律手数料

当初予算額 支出済額

3,741 3,741

26 25

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 10 教育振興費
 ◎学校教育 ○教育内容・環境の充実

中学校教育振興助成事業

【 学務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 学校教育
 施策の方針 教育内容・環境の充実

【 事業の目的 】

対象 経済的理由により就学が困難な生徒の保護者や、特別支援学級に就学している生徒の保護者

意図 保護者の経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施を図るため。

効果 保護者が安心して生徒を就学させることができ、教育の機会均等が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 要保護及び準要保護生徒に対して必要な扶助を行った。
- ・ 特別支援学級等に就学する生徒に対して必要な扶助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
67,979	60,979	52,230		8,749
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
20節 要保護及び準要保護生徒扶助費			63,096	49,927
内訳				
学用品費			13,638	11,910
通学用品費			845	750
校外活動費(宿泊を伴わないもの)			1,386	1,212
校外活動費(宿泊を伴うもの)			1,304	603
新入学生徒学用品費			1,435	1,560
修学旅行費			10,964	7,665
通学費			300	76
給食費			32,076	25,072
医療費			10	0
めがね検眼・購入費			1,138	1,079
特別支援教育就学奨励費			4,883	2,303
内訳				
学用品費			651	331
通学用品費			36	20
校外活動費(宿泊を伴わないもの)			73	46
校外活動費(宿泊を伴うもの)			68	0
新入学生徒学用品費			970	396
修学旅行費			529	150
通学費			847	548
給食費			1,693	811
言語・難聴通級費			11	0
職場実習交通費			5	1
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				1,112

(款) 55 教育費 (項) 15 中学校費 (目) 15 学校建設費

◎学校教育 ○学校施設の管理・整備

中学校施設整備事業

【 学校施設課 】

※重点事業(事業CD:4-3-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 学校教育

施策の方針 学校施設の管理・整備

【 事業の目的 】

対象 市立中学校9校

意図 中学校施設の改修等により教育環境の改善を図るため。

効果 生徒の安全・安心な教育環境を整える。

【 事業の内容 】

- ・ 防犯カメラの設置・更新及び管理業務委託を行った。
- ・ 学びの多様化学校(不登校特例校)開設候補地において地質調査業務委託等を行った。
- ・ 埋蔵文化財発掘調査業務委託料については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 学びの多様化学校外構工事設計業務委託料については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
95,499	98,434	9,343	89,091	0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	防犯カメラ設置・更新及び管理業務委託料		3,733	3,708
	埋蔵文化財発掘調査業務委託料(翌年度への繰越明許費)		91,766	0
	不登校特例校設置予定地地質調査業務委託料		0	3,713
	不登校特例校設置予定地測量業務委託料		0	1,922
	学びの多様化学校外構工事設計業務委託料(翌年度への繰越明許費)		0	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			1,878

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費

◎文化 ○文化活動の支援・推進

美術館建設準備事業

【

文化課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 文化

施策の方針 文化活動の支援・推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 文化を創造するまちづくりに資する施設となる美術館の設置に向けて準備をするため。

効果 鎌倉ゆかりの美術工芸品等の収集及び保存を図る。

【 事業の内容 】

- ・美術工芸品等収集選定委員会の開催、作品の収集、高田博厚作品を含む美術品保管委託等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,477	3,477	3,101		376

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
1節 美術工芸品等収集選定委員会委員報酬 5人	52	52
8節 美術家専門家助言謝礼報償費	10	0
13節 美術品保管委託料	3,049	3,049
美術品搬送委託料(寄贈対応分)	366	0

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費

◎文化 ○文化活動の支援・推進

鏑木清方記念美術館管理運営事業

文化課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 文化
施策の方針 文化活動の支援・推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鏑木清方の作品等を展示公開及び維持・管理し、鏑木美術品等の調査及び研究を行うため。

効果 鏑木清方の業績を後世に伝える。市民の教育、学術及び文化の発展に資する。

【 事業の内容 】

- ・ 指定管理者制度により、鏑木清方記念美術館の効率的な管理運営を行った。
- ・ 指定管理者との役割分担に応じた施設の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
52,608	52,608	49,813		2,795
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	指定管理者選定委員会委員報酬 5人		156	104
11節	鏑木清方記念美術館垣根等修繕料		2,500	2,078
13節	鏑木清方記念美術館指定管理料		46,761	46,760
14節	鏑木清方記念美術館電子複写機等賃借料		368	247
19節	市民無料化等リスク分担負担金		2,823	624

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費

◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

社会教育運営事業

【 教育総務課・学務課・生涯学習課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち、
分野 生涯学習
施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「生きがい」や「自己実現」のみならず、地域社会の活性化や高齢者の社会参加の促進など、豊かな地域づくりを目指すため。

効果 「誰もが、いつでも、どこでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される」ような生涯学習社会を構築する。

【 事業の内容 】

- ・社会教育委員会議を運営した。
- ・社会教育振興事業など、社会教育に関する様々な事業を実施した。
- ・教育文化施設建設等の財源に充てるための基金を運用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,676	15,376	14,507		869
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 社会教育委員報酬 10人			498	328
8節 社会教育振興事業(鎌倉武・なつの学習教室)報償費			313	97
教育委員会賞報償費			50	0
9節 社会教育委員等費用弁償			17	6
11節 消耗品費			60	33
12節 筆耕翻訳料			80	59
鎌倉武・なつ・ふゆの学習教室スタッフ保険料			27	22
13節 ウインターコンサート委託料			84	84
大学等公開講座事業委託料			150	150
14節 社会教育委員会会議会場使用料			5	2
ウインターコンサート会場使用料			49	48
19節 神奈川県社会教育委員連絡協議会負担金			11	11
市PTA連絡協議会補助金			70	70
25節 教育文化施設建設等基金利子積立金			1,862	1,852
教育文化施設建設等基金寄附等積立金			3,400	11,745

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費
 ◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

吉屋信子記念館管理運営事業

【 生涯学習課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 生涯学習
 施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 吉屋信子文学の業績をしのび、その文学を永久に保存し後世に伝えとともに、市民の文化教養の向上を図るため。

効果 生涯学習施設としての市民等の学習の場として活用する。
 吉屋信子の文学及び業績を広く市民に伝える。

【 事業の内容 】

・ 吉屋信子記念館の維持管理を行うとともに、施設の公開活用などを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,337	4,337	3,232		1,105
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			39	24
印刷製本費			213	100
吉屋信子記念館光熱水費			204	107
各所修繕料			1,466	1,415
12節 電信料			51	43
火災報知機保守点検手数料			32	31
建物総合損害共済保険料			12	12
13節 管理補助業務委託料			1,178	696
庭園管理業務委託料			450	499
機械警備業務委託料			200	106
産業廃棄物処理委託料			10	10
枝払い業務委託料			482	189

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

【 職員課・教育総務課 】

【 対象となる職員 】
 共生共創部文化課
 こどもみらい部青少年課
 教育文化財部文化財課・生涯学習課・中央図書館

【 職員給与費 】		(単位:千円)	
<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		400,867	394,267
・ 2節 給料	一般職	188,021	183,044
	一般職職員 47人		
	短時間勤務職員 3人		
・ 3節 職員手当等		144,828	146,395
	扶養手当	4,110	3,603
	地域手当	29,224	28,450
	通勤手当	4,530	4,551
	超過勤務手当	12,670	16,482
	休日給	2,690	2,737
	管理職手当	2,960	2,959
	特殊勤務手当	6	13
	期末勤勉手当	80,094	78,817
	住居手当	5,965	6,539
	管理職員特別勤務手当	39	4
	児童手当	2,540	2,240
・ 4節 共済費		68,018	64,828
	市町村職員共済組合負担金	66,541	63,359
	社会保険料	888	917
	雇用保険料	589	552

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 5 社会教育総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課・教育総務課

【 対象となる職員 】

こどもみらい部青少年課

教育文化財部のうち文化財課・生涯学習課・中央図書館

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		270,684	230,804
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	182,690	164,013
	会計年度事務補助職員 19人		
	社会教育指導員 1人		
	図書館業務補助職員 30人		
	近代史資料研究員 1人		
	歴史的公文書選別等業務職員 2人		
	埋蔵文化財調査員 31人		
	遺跡発掘調査研究員 2人		
	鎌倉国宝館会計年度学芸員 2人		
	鎌倉国宝館会計年度学芸補助職員 2人		
	鎌倉歴史文化交流館会計年度学芸員 2人		
	埋蔵文化財事務補助職員 1人		
・ 3節 職員手当等		35,497	33,331
	期末手当		
・ 4節 共済費		33,456	26,737
	市町村職員共済組合負担金	12,798	8,399
	社会保険料	17,686	15,568
	雇用保険料	2,972	2,770
・ 9節 旅費		19,041	6,723
	費用弁償		

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 10 文化財保護費

◎歴史環境 ○文化財の保護

史跡環境整備事業

【 文化財課 】

※重点事業(事業CD:2-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 歴史環境

施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 国等指定史跡

意図 国等指定史跡の公有地化及び整備により、保護するため。

効果 国等指定史跡を保護する。

【 事業の内容 】

- ・ 史跡永福寺跡の公開活用及び維持管理を行った。
- ・ 史跡大町釈迦堂口遺跡の崩落対策工事について、前年度からの通次繰越分を含めて実施した。
- ・ 史跡浄光明寺境内・冷泉為相墓の崩落対策調査を行った。
- ・ 公有地化した史跡の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
76,341	179,209	127,869		51,340
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	史跡等整備アドバイザー会議等謝礼		218	62
11節	消耗品費		564	140
	光熱水費		204	44
	維持修繕料		50	25
12節	電信料		85	84
13節	史跡永福寺跡維持管理業務委託料		11,468	9,190
	史跡等維持管理業務委託料		15,000	15,560
	公衆Wi-Fi運用・保守業務委託料		119	119
	史跡浄光明寺境内・冷泉為相墓崩落対策調査業務委託料		8,536	5,227
	史跡防災・管理業務委託料		10,000	4,191
	史跡北条氏常盤亭跡崩落対策基本設計業務委託料		4,697	3,786
	史跡大町釈迦堂口遺跡暫定公開整備業務委託料		8,000	7,752
15節	史跡大町釈迦堂口遺跡崩落対策工事請負費 (継続事業・令和5年度分 前年度からの通次繰越含む)		17,000	81,134
19節	全国史跡整備市町村協議会負担金		40	40
	全史協関東地区協議会負担金		10	10
	協働事業負担金		350	350
22節	市有地管理に起因する損害賠償費金		0	154
23節	目的外使用料過誤納金還付金		0	1
<主な特定財源>				
	・国県支出金			68,794

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 10 文化財保護費

◎歴史環境 ○文化財の保護

文化財調査・整備事業

【 文化財課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 有形・無形文化財、民俗文化財、埋蔵文化財等を適切に保護するため。

効果 文化財を適切に保護し、後世に伝える。

【 事業の内容 】

- ・文化財の調査及び指定、発掘調査による埋蔵文化財の記録保存を行い、調査報告書を発行した。
- ・発掘調査に伴い出土した遺物の整理を行い、適正かつ効率的な保管・管理を行った。
- ・出土遺物保存処理業務委託については、処理過程で必要となった特殊な補修材の調達に時間がかかり、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
109,256	95,148	72,914	2,508	19,726
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	文化財専門委員報酬 9人	276	206	
8節	文化財調査謝礼等報償費	200	160	
9節	会計年度任用職員等費用弁償	547	106	
11節	発掘関係等消耗品費	2,965	2,871	
	燃料費	230	62	
	埋蔵文化財緊急調査報告書等印刷製本費	2,639	1,641	
	光熱水費	2,179	902	
	分室冷暖房設備等修繕料	1,590	0	
	車両修繕料	100	133	
	医薬材料費	6	5	
12節	電信料	165	57	
	建物総合損害保険料	1	1	
13節	発掘調査作業業務委託料	7,972	7,443	
	発掘調査用機材運搬業務委託料	277	159	
	発掘調査支援業務委託料	6,144	2,574	
	花粉等分析業務委託料	987	450	
	空中写真撮影業務委託料	389	319	
	出土遺物保存処理業務委託料(翌年度への事故繰越し)	5,403	1,595	
	確認調査発掘削業務委託料	2,815	2,129	
	仮設トイレ汲み取り業務委託料	37	35	
	資料整理業務委託料	975	975	
	フィルム等デジタル化業務委託料	8,393	1,417	
	出土品保管箱運搬等業務委託料	858	147	
	出土品保管箱整理作業業務(運搬)委託料	1,044	0	
	出土品保管箱整理作業業務(水洗い)委託料	975	0	

	分室管理業務委託料	1,804	1,804
	分室機械警備業務委託料	92	92
	分室枝払い等業務委託料	389	352
	出土品保管箱廃棄物処理業務委託料	220	0
	庚申塔等管理業務委託料	264	99
14節	トランシット賃借料	1,031	1,031
	発掘調査用機材賃借料	484	453
	文化財システムパソコン賃借料	3,152	3,152
	分室賃借料	2,409	2,178
	出土品保管施設賃借料	34,413	34,319
18節	カメラ備品購入費	644	474
19節	<u>出土品保管施設光熱水費等負担金</u>	300	708
	発掘調査費補助金	14,400	2,400
	市指定文化財管理補助金	2,480	2,460
27節	自動車重量税	7	5
<主な特定財源>			
	・国県支出金		48,444

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 10 文化財保護費

◎歴史環境 ○文化財の保護

文化財保存・修理助成事業

【 文化財課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 指定文化財の所有者等

意図 指定文化財等の適切な保護を図り、後世に伝えるため。

効果 指定文化財等を適切に保護し、後世に伝える。

【 事業の内容 】

・ 指定文化財等の保護を図るために必要な費用に対し補助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,662	44,413	41,164		3,249
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
13節	国指定重要文化財円覚寺五百羅漢像保存修理業務委託料	20,192	20,191	
19節	面掛行列保存育成事業補助金	60	60	
	鎌倉文化財防災連絡協議会事業補助金	4,274	3,657	
	鎌倉市郷土芸能保存協会育成事業補助金	134	134	
	指定文化財緊急保存修理事業補助金	1,000	0	
	国指定重要文化財光明寺本堂保存修理事業補助金	5,000	3,500	
	国指定重要文化財建長寺仏殿保存修理事業補助金	2,312	0	
	国指定重要文化財建長寺伽藍神像保存修理事業補助金	329	329	
	国指定重要文化財円応寺木造奪衣婆坐像保存修理事業補助金	436	305	
	国指定重要文化財円覚寺文書保存修理事業補助金	177	177	
	国指定史跡浄智寺境内環境整備事業補助金	600	600	
	国指定史跡瑞泉寺境内環境整備事業補助金	233	233	
	国指定名勝瑞泉寺庭園環境整備事業補助金	183	183	
	国指定史跡鶴岡八幡宮境内環境整備事業補助金	9,368	8,431	
	県指定重要文化財教恩寺木造阿弥陀如来及び両脇侍立像保存修理事業補助金	644	644	
	市指定有形文化財常楽寺木造釈迦如来坐像保存修理事業補助金	2,720	2,720	
<主な特定財源>				13,460
・ 国県支出金				

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 10 文化財保護費

◎歴史環境 ○文化財の保護

文化財公開活用事業

【 文化財課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市内に所在する文化財を公開・活用し、文化財の魅力を発信することで、郷土への理解及び文化財への愛着を深めるため。

効果 郷土への理解及び文化財への愛着を深めることにより、文化財を確実に後世へ伝えていく。

【 事業の内容 】

・郷土芸能大会の実施や、文化財標柱等の設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,974	2,974	2,360		614
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	遺跡調査研究発表会講師等謝礼	130	30	
11節	消耗品費	339	203	
	印刷製本費	585	457	
12節	筆耕翻訳料	85	81	
13節	郷土芸能大会支援業務委託料	479	429	
	文化財標柱等設置業務委託料	708	547	
14節	クラウド型収蔵品管理システム等使用料	648	613	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			201

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 10 文化財保護費

◎歴史環境 ○文化財の保護

鎌倉市にふさわしい博物館事業

【

生涯学習課

】

※重点事業(事業CD:2-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 歴史環境

施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉市にふさわしい博物館のあり方を検討し、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産に対する市民等の理解を深めるため。

効果 市民等の歴史学習の環境をつくり、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産を未来へ継承する意識の醸成を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市にふさわしい博物館の構築に向けて、基本計画等を策定するため、内容の検討を行った。
- ・エコミュージアム運営に向けた準備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,468	2,468	550		1,918
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節 鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会委員報酬 10人			204	21
9節 鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定委員会委員費用弁 償			300	28
11節 消耗品費			400	347
印刷製本費			300	0
13節 鎌倉市にふさわしい博物館基本計画等策定にかかる現地調査 等業務委託料			969	0
14節 エコミュージアム運営準備会等会場使用料			100	0
18節 エコミュージアム運営準備会パソコン備品購入費			195	154

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 15 生涯学習センター費

◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

生涯学習センター推進事業

【 生涯学習課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 生涯学習

施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。

効果 「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・生涯学習充実のため、指定管理者や鎌倉市生涯学習推進委員会と連携して、利用ニーズにあった各種講座・イベント開催の推進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4	4	0		4

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

9節 会計年度任用職員費用弁償

4 0

・生涯学習センター事業利用状況(延人数)

	鎌倉	腰越	深沢	大船	玉縄(含分室)	合計
推進事業のイベント・講座	1,373	427	198	85	437	2,520

・生涯学習教養セミナー実施回数及び参加者

種別	実施回数	参加者
生涯学習教養セミナー	5	23

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 15 生涯学習センター費
 ◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

生涯学習センター管理運営事業

【 生涯学習課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 生涯学習
 施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。

効果 「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 指定管理者との役割分担を明確にし、鎌倉市生涯学習センター施設の効率的な管理運営を行った。
- ・ 指定管理者と連絡・調整等を行いながら、利用者が利用しやすい施設の充実や利用促進を図った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、鎌倉生涯学習センター吊物機構の修繕を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
253,811	263,436	258,007		5,429
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節 消耗品費		424	211	
維持修繕料(各学習センター・学校開放施設)		2,489	2,286	
鎌倉生涯学習センター自動ドア交換修繕料		924	924	
鎌倉生涯学習センター雨漏り修繕料		1,235	1,171	
鎌倉生涯学習センター吊物機構修繕料(前年度からの繰越明許費)		0	21,450	
備品修繕料		5	0	
12節 電信料		122	131	
第一小学校グランドピアノ調律料		29	28	
建物総合損害共済保険料		63	63	
13節 学校開放施設管理業務委託料		7,448	5,396	
生涯学習センター指定管理委託料		186,113	185,233	
鎌倉生涯学習センター(ギャラリー)空調機設置業務委託料		10,890	0	
生涯学習センターアンケート調査委託料		204	332	
予約システム移設委託料		564	518	
腰越学習センターグリストラップ清掃等業務委託料		152	139	
深沢学習センターグリストラップ清掃等業務委託料		132	130	
玉縄学習センターグリストラップ清掃等業務委託料		139	135	
14節 鎌倉生涯学習センター土地賃借料		31,233	31,233	
生涯学習ネットワークシステム機器賃借料		5,489	5,488	
18節 インボイス対応レジスター備品購入費		1,154	219	
19節 生涯学習センター施設利用料等減免負担金		5,000	2,920	
23節 過年度収入分の使用料還付金		2	0	
<主な特定財源>				
・ 地方債				20,000

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 20 青少年育成費
 ◎青少年育成 ○青少年の育成・支援

育成事業 【 青少年課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 青少年育成
 施策の方針 青少年の育成・支援

【 事業の目的 】

対象 青少年等

意図 次世代を担う青少年一人ひとりの自立に向けた環境づくりを推進するため。

効果 青少年に多様な体験・活動の機会を提供し、地域を支える人材を育成する。
 地域に青少年が集うことができる居場所や社会参画の機会・仕組みを提供する。

【 事業の内容 】

- ・ 青少年が自立・参画・共生していく基礎を育むことができる新たな居場所づくりを検討した。
- ・ 地域で青少年を育成する風土を醸成するとともに、将来の地域づくりの担い手となる青少年の育成を目指し、発達段階に応じた社会参画の機会を創出した。
- ・ 不登校の児童生徒がフリースクール等を利用する際の補助を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,359	14,699	11,560		3,139
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	青少年問題協議会委員報酬 10人	408	246	
8節	青少年指導員報償費	1,650	1,182	
	青少年の居場所検討に係る謝礼等報償費	64	22	
9節	青少年指導員費用弁償	11	0	
11節	消耗品費	158	157	
	印刷製本費	0	22	
12節	青少年指導員保険料	92	84	
13節	二十歳のつどい事業委託料	1,993	1,993	
14節	二十歳のつどい芸術館等使用料	434	386	
19節	子ども会補助金	617	543	
	青少年指導員連絡協議会補助金	932	932	
	フリースクール等利用児童生徒支援補助金	6,000	5,993	
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			300

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 20 青少年育成費
 ◎青少年育成 ○青少年の育成・支援

青少年会館管理運営事業

【

青少年課

】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 青少年育成
 施策の方針 青少年の育成・支援

【 事業の目的 】

対象 青少年

意図 交流と活動の場を提供することにより、青少年の自立を促すため。

効果 青少年の健全育成に寄与する。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉青少年会館及び玉縄青少年会館の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,862	24,662	21,629		3,033
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節 会館講師謝礼			389	385
11節 消耗品費			312	311
光熱水費			10,197	4,444
会館維持修繕料			6,000	5,612
備品修繕料			20	0
医薬材料費			3	1
12節 電信料			252	162
昇降機保守点検手数料			779	779
電気工作物保守管理・点検等手数料			1,127	1,113
13節 清掃業務委託料			4,298	3,810
夜間等管理業務委託料			3,927	3,560
植木剪定・斜面草刈業務委託料			577	577
空調機設備点検業務委託料			396	248
機械警備業務委託料			206	206
自動ドア保守点検業務委託料			111	111
害虫駆除業務委託料			55	0
グリストラップ点検業務委託料			26	26
樹木剪定業務委託料			0	99
14節 簡易印刷機賃借料			185	185
22節 過少収納時補填金			2	0

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 25 図書館費

◎生涯学習 ○生涯学習環境の整備・充実

図書館管理運営事業

【 中央図書館 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 生涯学習

施策の方針 生涯学習環境の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 図書等資料を収集、整理・保存して市民等の利用に供し、市民等の教養、調査、研究及びレクリエーション等に資するため。

効果 市民自らが文化的教養を高め、自己判断力の向上を目指すとともに、調査・研究等に活用されること。

【 事業の内容 】

- ・ 効果的な資料収集を図るとともに、市民等のニーズに則した貸出業務、インターネット予約受付などを実施した。
- ・ 図書館業務に必要な会計年度任用職員の配置と諮問機関としての図書館協議会の運営を図った。
- ・ 図書館施設の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
98,541	91,434	87,861		3,573
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	図書館協議会委員報酬 4人	126	116	
8節	資料提供等謝礼	80	46	
9節	会計年度任用職員費用弁償	16	15	
11節	資料整理文具等消耗品費	2,019	1,519	
	ブックスタート図書等消耗品費	1,056	973	
	一般図書資料等消耗品費	25,651	25,734	
	燃料費	42	28	
	印刷製本費	207	207	
	図書館光熱水費	9,132	5,163	
	各所修繕料	1,220	986	
	灯油タンク埋め戻し修繕料	512	495	
	中央図書館書架耐震補強修繕料	275	275	
	備品修繕料	165	110	
	車両修繕料	109	133	
12節	電信料	1,764	1,641	
	運搬料	132	136	
	エレベーター(1号機)保守点検手数料	514	513	
	多目的エレベーター(2号機)保守点検手数料	515	515	
	自家用電気工作物保守点検等手数料	540	477	
	おはなしボランティア等保険料	88	87	
13節	廃棄図書処理委託料	55	55	
	中央図書館等巡回業務委託料	5,635	4,304	
	複写機保守委託料	244	142	

	各種水槽清掃業務委託料	121	121
	自動ドア保守点検業務委託料	99	99
	総合警備業務委託料	98	98
	総合管理業務委託料	11,790	9,233
	学校搬送業務委託料	520	500
	「鎌倉関係古絵図」デジタル化委託料	196	196
	「鎌倉以外古絵図」デジタル化委託料	195	195
	写真修復、整理保存及びデジタル化委託料	6,727	6,627
	中央図書館トイレ特別清掃委託料	136	136
	冷凍機冷媒回収業務委託料	165	148
14節	複写機賃借料	55	54
	有料データベース使用料	1,186	1,186
	書誌情報データ使用料	790	790
	図書館システム機器賃借料	19,107	19,107
	イベント会場等使用料	92	67
	中央図書館電話機等リース料	672	401
18節	彩色絵図「江ノ島鎌倉道中記」備品購入費	165	165
19節	日本図書館協会会費等負担金	70	70
25節	図書館振興基金利子積立金	3	6
	図書館振興基金寄附等積立金	6,250	4,985
27節	自動車重量税	7	7

令和5年度(2023年度)中央図書館事業実施状況

令和5年度(2023年度)購入した資料	15,295点		
令和5年度(2023年度)寄贈を受けた資料	10,451点		
令和5年度(2023年度)廃棄した資料	26,955点	所蔵資料数	640,036点

・貸出利用状況

施設名等	貸出登録者	貸出利用者	貸出資料数	予約受付件数
中央図書館	23,045人	延116,064人	346,559冊(点)	27,162件
腰越図書館	8,340人	延57,712人	194,901冊(点)	15,617件
深沢図書館	9,712人	延70,575人	238,161冊(点)	14,432件
大船図書館	15,027人	延99,735人	310,878冊(点)	17,597件
玉縄図書館	8,990人	延60,863人	207,841冊(点)	14,062件
WEB				339,812件
小計	65,114人	延404,949人	1,298,340冊(点)	428,682件
学校等貸出		小16、中4、他5	457パック	

・その他の業務

施設名	資料相談件数	複写サービス
中央図書館	20,706件	33,745枚
腰越図書館	14,605件	1,484枚
深沢図書館	13,182件	3,276枚
大船図書館	18,280件	4,170枚
玉縄図書館	12,334件	2,526枚
合計	79,107件	45,201枚

・視聴覚ライブラリー

貸出資料数	
16mmフィルム	30点
デイジー(視覚障害者用CD-R)	88点
貸出機器数	30点

・行事実施状況

行事等	実施回数	参加人数
おはなし会	225回	1,469人
ブックスタート	24回	1,536人
ブックスタートフォローアップ	3回	9人
展示会等	63回	1,251人

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 30 博物館費

◎歴史環境 ○文化財の保護

鎌倉国宝館管理運営事業

【 生涯学習課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉ゆかりの文化財を収集、受託、保管し安全に後世に伝えるとともに、調査・研究、展示をとおして市民等の利用に供するため。

効果 現在国宝5件43点、重文75件872点をはじめ、館蔵品・寄託品併せて1,000件、5,000点を超える収蔵品を保管し、文化財の保全と活用を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉にゆかりのある文化財の調査研究や、新たな企画による特別展等での展示などを通じて、文化財の公開活用を行った。また、関係図書を出版・頒布し、市民等の利用に供した。
- ・ 収蔵資料を良好な環境の下で保存管理した。
- ・ 鎌倉国宝館の適切な維持管理を行った。
- ・ 鎌倉国宝館を円滑に運営するため鎌倉国宝館協議会を開催した。
- ・ 公益財団法人氏家浮世絵コレクションの円滑な運営を図るため補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
135,967	89,223	75,984		13,239
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	鎌倉国宝館協議会委員報酬 6人	124	42	
	非常勤特別職員報酬 1人	1,800	1,800	
8節	特別展等出品謝礼等	700	374	
9節	非常勤特別職員等費用弁償	96	96	
11節	消耗品費	1,470	1,469	
	観覧券・ポスター・図録等印刷製本費	5,766	4,237	
	光熱水費	23,082	12,119	
	各所修繕料	4,338	2,359	
	本館展示場他照明器具更新(LED化)修繕料	10,767	7,880	
	本館天窓遮光修繕料	1,537	1,238	
	看板揭示台(案内板)修繕料	3,747	1,248	
	消防設備(自動火災報知機パネル)更新修繕料	8,404	0	
	消防設備(排煙装置エンジン)更新修繕料	8,800	0	
	新館事務エリア系統空調熱源設備更新修繕料	19,664	0	
	鎌倉国宝館新館AC-3冷水弁更新修繕料	608	608	
	鎌倉国宝館新館汚水槽配管更新修繕料	723	723	
12節	電信料	216	197	
	美術品運搬料	7,536	5,871	
	広告料	396	396	
	消防設備点検手数料	501	500	
	昇降機保守検査手数料	621	234	
	自家用電気工作物保安業務手数料	248	231	

	建物総合損害共済等保険料	29	29
13節	展示補助業務委託料	358	283
	展示案内看板・懸垂幕製作業務委託料	402	239
	資料撮影業務委託料	333	330
	空調設備自動制御機器保守点検業務委託料	1,276	1,254
	空調設備保守点検業務委託料	499	499
	館内燻蒸業務委託料	4,664	4,620
	害虫駆除業務委託料	33	0
	機械警備業務委託料	259	259
	総合管理業務委託料	15,708	15,708
	植木剪定業務委託料	99	99
	啓発物デザイン業務委託料	1,078	1,078
	電子複写機保守点検業務委託料	236	146
14節	土地賃借料	8,437	8,437
	音声ガイド等使用料	427	410
18節	收藏品等撮影機材備品購入費	448	435
19節	県博物館協会負担金	17	17
	氏家浮世絵コレクション補助金	519	519
22節	過少収納時補填金	1	0

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 30 博物館費

◎歴史環境 ○文化財の保護

鎌倉歴史文化交流館管理運営事業

【 生涯学習課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
分野 歴史環境
施策の方針 文化財の保護

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史及び文化に関する展示や教育普及事業の実施により、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産に対する市民等の理解を深めるとともに、交流の場の提供により市民の交流を促進するため。

効果 市民等の歴史学習の環境をつくり、鎌倉の歴史的遺産や文化的遺産を未来へ継承する意識の醸成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉ゆかりの文化財に関する企画展を年4回行った。また、関係図書を出版・頒布し、市民等の利用に供した。
- ・ 講座、体験学習、交流イベント等を企画・立案・実施した。
- ・ 鎌倉歴史文化交流館等の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,434	66,126	59,372		6,754
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	非常勤特別職員報酬 1人	1,800	1,800	
8節	講座講師謝礼等	200	90	
9節	非常勤特別職員等費用弁償	597	292	
11節	消耗品費	3,086	2,538	
	観覧券・ポスター・図録等印刷製本費	4,631	4,291	
	光熱水費	11,709	5,293	
	外壁目地修繕料	4,457	4,454	
	空調機室外機夜間騒音対策修繕料	674	674	
	各所修繕料	2,748	402	
	車両修繕料	0	5	
	医薬材料費	10	0	
12節	電信料	850	728	
	美術品等運搬料	2,948	3,136	
	広告料	1,030	695	
	自家用電気工作物保守点検等手数料	255	202	
	建物総合損害共済等保険料	29	29	
13節	総合管理業務委託料	23,974	23,973	
	機械警備業務委託料	458	458	
	庭園管理等業務委託料	4,200	2,931	
	普及啓発促進業務委託料	2,405	2,170	
	館内燻蒸業務委託料	4,400	4,367	
	害虫駆除業務委託料	33	0	
	電子複写機保守点検業務委託料	495	400	

14節	ソフトウェア等使用料	152	166
18節	資料作成・編集用等パソコン備品購入費	292	240
22節	過少収納時補填金	1	0
	<u>賠償金</u>	0	38

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 35 文学館費
 ◎文化 ○文化活動の支援・推進

文学館管理運営事業

【 文化課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち
 分野 文化
 施策の方針 文化活動の支援・推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 観覧や教養及び調査・研究に資するため。

効果 鎌倉ゆかりの文学及び文学者に対する理解を深めることができる。

【 事業の内容 】

- ・施設及び資料の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
44,814	41,814	37,416		4,398
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			36	24
光熱水費			8,050	2,737
鎌倉文学館機械室棟地下水中ポンプ等修繕料			906	906
鎌倉文学館収蔵庫棟屋根目地等修繕料			1,594	596
12節 電信料			199	79
13節 樹木枝払い等業務委託料			1,364	1,331
鎌倉文学館収蔵品管理業務委託料			10,956	10,956
鎌倉文学館維持管理業務委託料			11,055	11,055
鎌倉文学館機械警備業務委託料			962	792
鎌倉文学館空調設備保守点検業務委託料			1,219	1,219
鎌倉文学館自家用電気工作物保安業務委託料			159	158
鎌倉文学館電動書架保守点検業務委託料			464	232
鎌倉文学館収蔵庫リフト保守点検業務委託料			172	172
鎌倉文学館収蔵庫殺虫燻蒸業務委託料			1,958	1,925
鎌倉文学館消防設備点検業務委託料			433	433
鎌倉文学館防火設備点検業務委託料			146	146
鎌倉文学館庭園整備管理業務委託料			3,285	3,285
鎌倉文学館植栽等管理業務委託料			1,264	1,258
高圧受電設備設置者変更手続き業務委託料			11	11
14節 鎌倉文学館資料保管用倉庫賃借料			581	101

(款) 55 教育費 (項) 20 社会教育費 (目) 35 文学館費

◎文化 ○文化活動の支援・推進

文学館大規模修繕事業

【 文化課 】

※重点事業(事業CD:2-2-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 文化

施策の方針 文化活動の支援・推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 老朽化が進む鎌倉文学館の大規模修繕を行い、施設・設備の機能を維持するため。

効果 来館者の安全を確保するとともに、歴史的な建築物を恒久的に保存を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉文学館改修設計業務を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
75,116	93,526	91,950		1,576
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	鎌倉文学館改修工法等検討委員会専門家謝礼報償費	100	30	
9節	会計年度任用職員市外出張費用弁償	6	0	
13節	鎌倉文学館改修基本設計業務委託料	54,010	73,920	
	鎌倉文学館改修実施設計業務委託料(前金払分)	21,000	18,000	
<主な特定財源>				
	・国県支出金			9,000

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費
 ◎スポーツ・レクリエーション ○スポーツ・レクリエーションの推進

保健体育運営事業

【 スポーツ課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 スポーツ・レクリエーション
 施策の方針 スポーツ・レクリエーションの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 活動団体への指導・援助や、関係団体との協調を図るため。

効果 スポーツ・レクリエーション活動の支援を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 関係団体への指導・援助の充実や、団体の組織化や連携を強化した。
- ・ スポーツの分野で活躍する子どもたちを支援した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,139	10,139	8,807		1,332
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	スポーツ推進審議会委員報酬 7人		328	122
	スポーツ推進委員報酬 64人		3,021	3,013
8節	国体等出場者祝金等報償費		625	383
9節	県スポーツ推進委員大会等費用弁償		98	47
11節	消耗品費		83	27
	燃料費		177	189
	車両修繕料		124	39
14節	ジュニアスポーツ栄誉表彰式会場等使用料		141	60
19節	県スポーツ推進委員連合会等分担金		52	43
	体育協会補助金		3,153	3,152
	レクリエーション協会補助金		177	177
	総合型地域スポーツクラブ自立支援補助金		2,160	1,555

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費

◎スポーツ・レクリエーション ○スポーツ・レクリエーションの推進

各種スポーツ行事事業

【 スポーツ課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち

分野 スポーツ・レクリエーション

施策の方針 スポーツ・レクリエーションの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため。

効果 市民のスポーツ・レクリエーションの推進やスポーツ・レクリエーション活動の支援を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 市民向けのスポーツ行事を開催するとともに、スポーツ指導者の育成などを行い、地域に根ざすスポーツの促進を図った。
- ・ 市民の体力づくりや健康の増進、地域コミュニティの活性化を図った。
- ・ 鎌倉における海の魅力を発信するため、セーリングやサーフィンをはじめとした様々なマリンスポーツの普及・促進を図った。
- ・ 障害者スポーツの普及・促進を図った。
- ・ ジュニアアスリート等の育成・支援や市民の競技力向上を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,593	10,593	8,979		1,614
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
8節	障害者スポーツ普及・促進事業謝礼等	653	523	
11節	消耗品費	91	37	
	医薬材料費	10	0	
13節	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事委託料	4,385	4,385	
	生涯スポーツ普及事業委託料	360	311	
	スポーツ・レクリエーションフェア開催委託料	262	164	
	健康ウォーク開催委託料	211	197	
	競技スポーツ推進事業委託料	1,566	1,246	
	ジュニアアスリート育成事業委託料	1,524	1,161	
14節	生涯学習センター会議室使用料	31	0	
19節	鎌倉海の魅力発信事業実行委員会負担金	1,500	955	

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費
 ◎スポーツ・レクリエーション ○スポーツ・レクリエーションの推進

学校体育施設開放事業

【 スポーツ課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 スポーツ・レクリエーション
 施策の方針 スポーツ・レクリエーションの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 地域の学校体育施設を開放することで、身近なところで気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションを振興するため。

効果 市民のスポーツ・レクリエーションの推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・地域の学校の体育館・校庭・プールを開放し、身近なところでスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境を提供した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
29,552	29,552	28,246		1,306
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 学校体育施設開放消耗品費			511	511
夜間照明設備等修繕料			1,580	1,257
備品修繕料			50	38
医薬材料費			19	0
12節 毛布クリーニング手数料			14	0
13節 学校体育施設開放運営協議会業務委託料			386	386
学校水泳プール一般開放監視等業務委託料			26,643	25,755
夜間照明設備保守点検業務委託料			299	299
学校開放備品類廃棄処分委託料			50	0

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 健康福祉部スポーツ課

職員給与費

(単位:千円)

＜支出内訳＞	当初予算額	支出済額
職員給与費	53,513	61,752
・ 2節 給料 一般職	24,241	28,669
一般職職員 8人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	20,179	22,967
扶養手当	136	166
地域手当	3,785	4,461
通勤手当	249	283
超過勤務手当	3,590	3,833
休日給	117	58
管理職手当	987	904
期末勤勉手当	10,459	12,359
住居手当	663	766
管理職員特別勤務手当	13	17
児童手当	180	120
・ 4節 共済費	9,093	10,116
市町村職員共済組合負担金	8,724	9,738
社会保険料	315	325
雇用保険料	54	53

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 5 保健体育総務費
 ◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 健康福祉部スポーツ課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
職員給与費		6,754	6,753
・ 1節 報酬	会計年度任用職員	4,834	5,167
	会計年度事務補助職員 2人		
	スポーツ施設管理職員 2人		
・ 3節 職員手当等		966	1,055
	期末手当		
・ 4節 共済費		330	326
	市町村職員共済組合負担金	128	105
	社会保険料	172	191
	雇用保険料	30	30
・ 9節 旅費		624	205
	費用弁償		

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 10 体育施設費
 ◎スポーツ・レクリエーション ○スポーツ・レクリエーションの推進

体育施設管理運営事業

【 スポーツ課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 スポーツ・レクリエーション
 施策の方針 スポーツ・レクリエーションの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等がスポーツ施設で気軽に楽しむことができるよう、スポーツ施設の適正な管理やスポーツに関する情報の発信を行うため。

効果 スポーツ施設の適切な管理運営等を行い、より多くの市民等の利用促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・市民の誰もが「いつでも」「どこからでも」スポーツ施設の予約や抽選、空き状況の確認ができるよう、神奈川県公共施設利用予約システムの適正な運用を行った。
- ・市民が身近なところで、気軽に参加でき、また、自ら主体的にスポーツ・レクリエーションが行えるよう、場の提供を行った。
- ・指定管理者制度により、スポーツ施設の効率的な管理運営を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
194,814	316,221	279,651		36,570
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 消耗品費			2,924	2,795
燃料費			66	72
光熱水費			17,296	6,632
スポーツ施設各所修繕料			7,000	5,918
こもれび山崎温水プール修繕料			7,923	7,915
指定管理4館維持修繕料			6,743	1,274
備品修繕料			403	214
12節 スポーツ施設予約システムインターネット利用等電信料			880	860
鎌倉海浜公園水泳プール電気設備保守点検等手数料			166	165
建物総合損害共済保険料			431	430
13節 鎌倉海浜公園水泳プール管理及び監視等業務委託料			30,361	30,250
鎌倉海浜公園水泳プール機械警備業務委託料			388	388
鎌倉海浜公園水泳プールプラゴミ回収処理業務委託料			79	17
スポーツ施設指定管理料			97,500	97,500
西御門テニスコート管理業務委託料			4,395	4,395
産業廃棄物運搬処分業務委託料			500	194
スポーツ施設植栽等管理業務委託料			297	0
深沢地域整備事業用地不要物撤去処分業務委託料			4,455	5,489
トイレトレーラー設置委託料			419	0
トイレトレーラー清掃作業委託料			236	0
鎌倉市山崎浄化センタースポーツ等広場整備業務委託料			0	97,196
鎌倉海浜公園水泳プール仮設建築物基礎解体業務委託料			0	946
山崎浄化センタースポーツ等広場管理・運營業務委託料			0	483
し尿収集運搬業務委託料			0	7

14節	西御門テニスコート土地賃借料	3,960	3,564
	スポーツ施設予約システム機器等賃借料	1,789	1,735
	鎌倉武道館駐車管制機器賃借料	2,018	2,018
	鎌倉海浜公園水泳プールMCA無線システム賃借料	37	37
	仮設トイレ賃借料	0	407
18節	卓球台等備品購入費	919	737
	コインロッカー購入費	0	4,297
19節	県市町村電子自治体共同運営協議会負担金	3,629	3,716

(款) 55 教育費 (項) 25 保健体育費 (目) 10 体育施設費
 ◎スポーツ・レクリエーション ○スポーツ・レクリエーションの推進

体育施設整備事業	【 スポーツ課 】
-----------------	---

※重点事業(事業CD:4-6-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 健やかで心豊かに暮らせるまち
 分野 スポーツ・レクリエーション
 施策の方針 スポーツ・レクリエーションの推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等が身近な場所で気軽にスポーツ等に取り組めるよう、総合体育館やグラウンドの整備を行うため。

効果 スポーツ施設の適切な整備を行い、より多くの市民等の利用促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 総合体育館やグラウンドの整備に向け、スポーツ施設建設基金の積立を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
9,357	11,557	10,092		1,465
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
25節	スポーツ施設建設基金利子積立金		152	137
	スポーツ施設建設基金寄附等積立金		9,205	9,955

(款) 60 公債費 (項) 5 公債費 (目) 5 元金

◎行財政運営 ○行財政運営

元金償還金

【 財政課 】

【 事業の内容 】

・ 長期債に係る元金償還金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,886,100	3,886,100	3,882,901		3,199

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
23節 財政融資資金償還金	1,839,867	1,836,668
地方公共団体金融機構償還金	346,596	346,596
旧郵政公社資金償還金	390,685	390,685
全国市有物件災害共済会償還金	56,168	56,168
神奈川県市町村振興協会償還金	422,195	122,195
神奈川県償還金	93,354	93,354
市中銀行等償還金	683,083	683,083
神奈川県市町村職員共済組合償還金	54,152	54,152

令和5年度借入状況(借入先別)

借入先	借入額
財政融資資金	764,400
地方公共団体金融機構	0
全国市有物件災害共済会	0
神奈川県市町村振興協会	131,200
神奈川県	223,400
神奈川県市町村職員共済組合	42,200
市中銀行	516,600
合 計	1,677,800

令和5年度借入状況(事業別)

事業名	借入額
文化施設整備事業	42,200
社会福祉施設整備事業	141,200
道路整備事業	595,600
都市計画事業	5,500
防災対策事業	67,100
公営住宅建設事業	551,600
河川整備事業	23,800
消防施設整備事業	146,400
義務教育施設整備事業	59,400
社会教育施設整備事業	20,000
史跡環境整備事業	25,000
合 計	1,677,800

4年度末残高	5年度償還額	5年度借入額	5年度末現在高
29,977,936	3,882,901	1,677,800	27,772,835

(款) 60 公債費 (項) 5 公債費 (目) 10 利子

◎行財政運営 ○行財政運営

支払利子

【

財政課

】

【 事業の内容 】

・ 長期債償還に伴う利子を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
160,700	142,569	139,870		2,699
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
23節	財政融資資金利子		92,024	83,388
	地方公共団体金融機構利子		13,199	12,155
	旧郵政公社資金利子		2,789	2,788
	全国市有物件災害共済会利子		704	142
	神奈川県市町村振興協会利子		14,874	12,367
	神奈川県利子		8,362	6,179
	市中銀行等利子		28,617	22,635
	神奈川県市町村職員共済組合利子		131	216

(款) 60 公債費 (項) 5 公債費 (目) 10 利子

◎行財政運営 ○行財政運営

借入金等利子

【

財政課

】

【 事業の内容 】

・ 基金の繰替運用に伴う利子を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23	23	10		13

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

23節 一時借入金等利子

23 10

(款) 65 諸支出金 (項) 5 土地開発公社費 (目) 5 土地開発公社費

◎行財政運営 ○行財政運営

利子負担金

【 公的不動産活用課 】

【 事業の内容 】

・ 鎌倉市土地開発公社の収益のみで利子の支払いを行うことができたため、支出はなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,349	0	0		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 鎌倉市土地開発公社利子負担金

3,349 0

(款) 65 諸支出金 (項) 5 土地開発公社費 (目) 5 土地開発公社費

◎行財政運営 ○行財政運営

貸付金

【

財政課

】

【 事業の内容 】

・ 鎌倉市土地開発公社の健全経営のための貸付けが必要なかったため、実施しなかった。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,000	10,000	0		10,000

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

21節 鎌倉市土地開発公社貸付金

10,000

0